

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(平成28年度報告)

事業主体 尾鷲市

1 被害防止計画の特徴等

尾鷲市では、主にニホンザル、ニホンジカ、イノシシの農作物被害や森林被害が多く、近年では生活被害も多発している。そこで、当市の被害対策の特徴としては、緊急捕獲事業による有害鳥獣の捕獲、防除対策、猟友会による一斉追い上げ、パトロール員による早急な追い払い、被害多発地区での勉強会等を実施しており、住民に獣害対策を理解していただき鳥獣害に強い集落づくり育成を目指し進めている。また、今後も猟友会の協力を得ながら、さらなる捕獲圧を高め、集落の地形にあった防護柵の施工方法の普及を行うとともに防護柵の改良や運用について研究を行っていく。

2 事業効果の発現状況

鳥獣被害対策実施隊によるパトロールの強化、追い払い、緩衝帯の設置、被害状況の把握により迅速な捕獲等を行うことで、被害の軽減が図られた。緊急捕獲事業の実施に伴い、個体数調整が図られたことで効果を実感できるようになり、農家の耕作意欲向上が確認できた。獣害対策研修会などを通じて地域住民の意識啓発を行うことで、獣害対策への理解が深まった。

3 被害防止計画の目標達成状況

捕獲圧の強化、獣害パトロール員と地域住民による迅速な追い払い、研修会等において地域住民に獣害対策の意識の向上を図ったことにより、おおむね目標に達成した。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始(ハード事業)	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画(改善)の目標と実績						事業実施主体の評価	都道府県の評価
										被害金額			被害面積				
										目標値(H28)	実績値(H28)	達成率	目標値(H28)	実績値(H28)	達成率		
尾鷲市 (尾鷲市鳥獣害防止対策協議会)	尾鷲市	H27	ニホンザル・ニホンジカ・イノシシ	緊急捕獲事業	一式	尾鷲市			獣害パトロール員による見回り、追い払い、捕獲等に加え、猟友会による一斉追い上げ、緊急捕獲事業に基づく捕獲による捕獲圧を強化したことで、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシの被害軽減が図られた。	(対象鳥獣ニホンザル、ニホンザル) 14,460千円	(対象鳥獣ニホンザル、ニホンザル) 15,975千円	(対象鳥獣ニホンザル、ニホンザル) 77%	(対象鳥獣ニホンザル、ニホンザル) 248.3ha	(対象鳥獣ニホンザル、ニホンザル) 59.7ha	(対象鳥獣ニホンザル、ニホンザル) 151%	捕獲機材の導入、実施隊による捕獲、猟友会による一斉追い上げ、緊急捕獲事業による捕獲等により、複合した鳥獣の駆除・捕獲の促進が図られたことで、有害捕獲頭数が増加した。また、捕獲頭数の増加に伴い生活被害が減ったと市民から言われるようになった。しかしながら、森林内におけるニホンジカの皮剥ぎ被害が大変深刻であり、被害金額に占める割合も、最も大きくなっている。ニホンジカの生息個数を抜本的に調整することが最優先と考えられることから、より捕獲圧を高めることが重要であると考え。	捕獲頭数については各種取り組みの結果、一定の成果が現れている。しかし、被害金額は増加傾向にある。今後、被害原因の分析と、具体的な対策を講じる必要がある。一方で、鳥類による被害が顕在化していることから、このことについても具体的な対策を検討する必要がある。
		H28	ニホンザル・ニホンジカ・イノシシ	緊急捕獲事業	一式	尾鷲市			獣害パトロール員による捕獲、猟友会による一斉追い上げ、緊急捕獲事業による捕獲数の増加により、さらに捕獲圧を強化したことで、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシの被害軽減が図られた。								

5 第三者の意見

本事業により獣害パトロール員、猟友会員による捕獲等が進められたことで被害軽減につながっています。ただ、森林でのニホンジカ被害が問題となっているので、捕獲関係者の協力のもとで捕獲効率の高い捕獲方法を検討し実施するなど捕獲圧を高め被害軽減につなげていただくことを期待します。